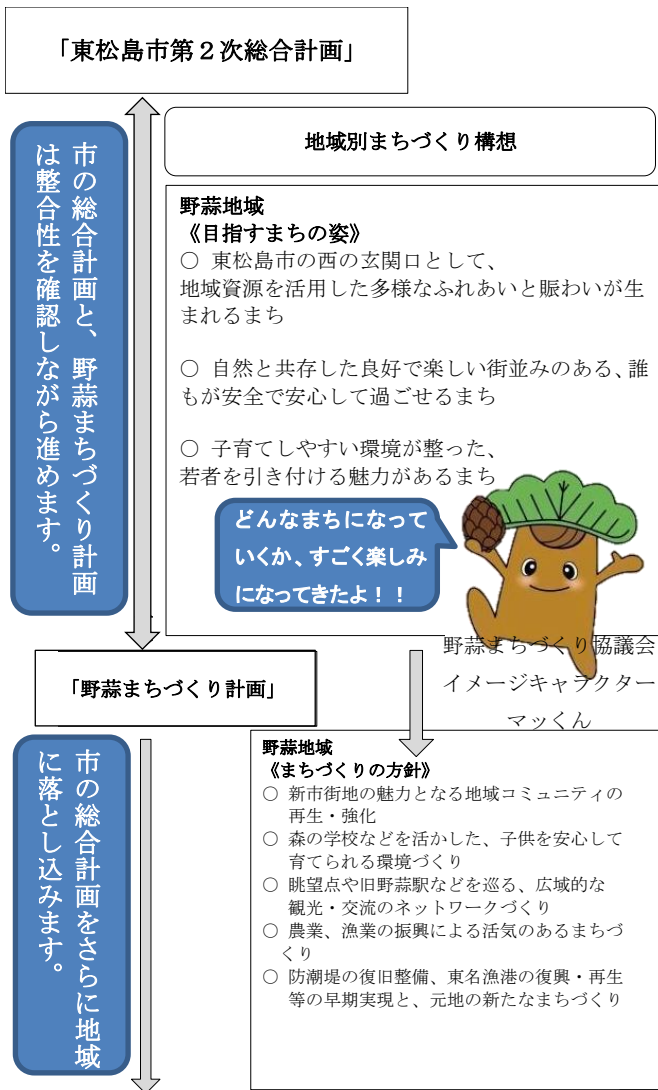


野蒜復興新聞

これまでの5年から
 これからの5年へ



最終的な計画内容を詰めます。

3月20日(日)に野蒜まちづくり計画策定検討委員会が野蒜市民センターにて開催されました。最終的な計画策定業務は、野蒜まちづくり計画策定業務コンサルタントの宮原博通氏による最終報告が、東松島市第2次総合計画との整合性を確保し、野蒜まちづくり計画の環境形成に最低限の必要時間が必要なことが示されました。

野蒜まちづくり計画策定検討委員会では、野蒜まちづくり計画の環境形成に最低限の必要時間が必要なことが示されました。野蒜まちづくり計画の環境形成に最低限の必要時間が必要なことが示されました。

力を合わせ、居心地の良い、活気ある野蒜を創る

野蒜まちづくり計画の方向
《まちづくり協議会の積み重ねから》

- 居心地のよい地域コミュニティの創造
- 共鳴共感を醸成していくまちづくり
- 広域的な観光・交流のネットワークの一端を担う地域資源の活用
- 元地の空地等を活用し、地域の元気づくりとコミュニティの活性化に向けた栽培事業を展開し、地場産業化を試みる。
- 高台の魅力ある街並みの形成

これを実現するためのプロジェクト

1. ハーブ等栽培(元地活用プロジェクト)
2. 活動拠点づくり(既存施設の活用)
3. 内外交流拠点づくり

環境形成スケジュール案



●専門部会 ●生涯学習 ●新野蒜市民センター施設設備 ●住民の自主事業...等を活用

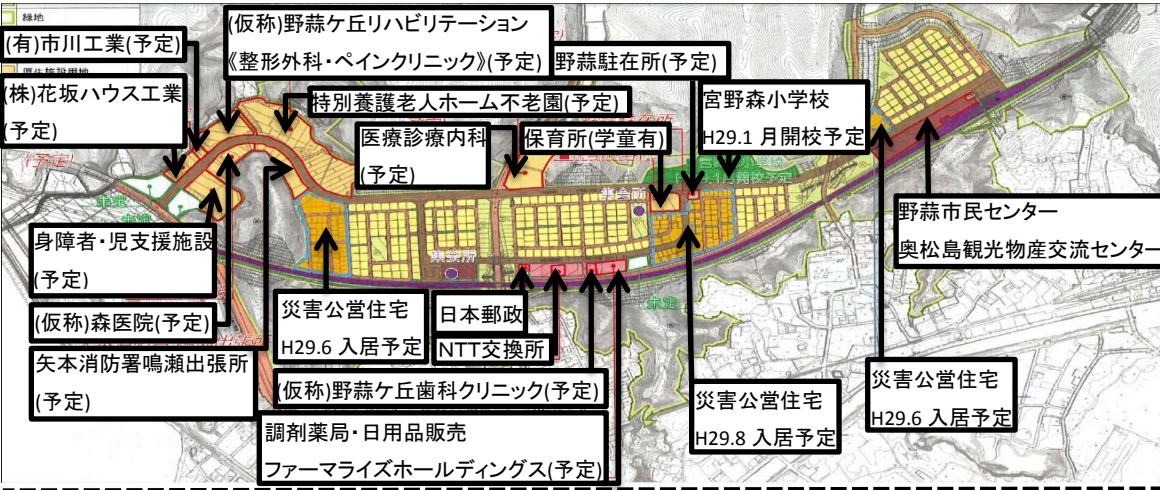
野 蒜 北 部 丘 陵 振 興 協 議 会



▲3月13日(日)に開催された高台移転部会全体会の様子

高台移転部会全体会(防集希望世帯)
 3月13日(日)に野蒜北部丘陵振興協議会高台移転部会全体会が野蒜市民センターにて開催されました。本会では、まちづくりルールガイドラインの一部修正について報告されました。併せて、野蒜北部丘陵地区の宅地整備の状況について、設計段階で想定していた「切土」と「盛り土」の範囲が一部の画地が変わることが分かったため、対象画地の入居予定者に対しては個別説明および意向確認をすることが説明されました。

また、時間の経過とともに被災者の状況の変化に伴う再建方法の変更により、未確定画地が発生していることに触れ、それらの未確定画地を構成員の増加(予定)に伴い世帯を独立または現在の世帯を分けるなどにより、新たに移転団地の画地を希望



望する可能性がないか確認が行われることが報告されました。他に、公共公益施設等の配置について、予定されている計画が示されました。

全体会后、5月末の土地引渡し世帯を対象に、土地の引き渡しに係る手続きについて説明が行われました。



▶一帯ずつ抽選が行われました。



▲前半は中央エリア、後半は西部エリアの抽選会が実施されました。

災害公営住宅抽選会
 3月6日(日)に災害公営住宅の希望エリア等の抽選会が野蒜市民センターにて開催されました。対象の64世帯のうち、62世帯の参加があり、抽選の結果、選外の世帯については他のプランを選択していただきました。

3月23日(水)に開催された部会の様子
 3月23日(水)に第13回災害公営住宅部会が開催されました。3月上旬に行われた抽選会の結果報告と希望状況の確認が行われました。

また、希望確定通知書(案)発送様式についての確認と、住宅の色彩コンセプトについて協議が行われました。

併せてUR都市機構により施工事業者の決定が報告されました。最後に、今後のスケジュールが確認されました。

平成28年度に予定される主な内容

- ① 住戸位置決めルール等の検討
- ② 住戸位置決め説明会
- ③ 住戸位置決め



第13回災害公営住宅部会